沼隈町

合併年月：2005年2月



沼隈町の歴史・文化

～伝統と祈りの地～

平家落人伝説

町内2か所に残る源平合戦の史跡。平家一門のうち平教経を大将とする一団が陣を張り、源氏との戦いを繰り広げた「能登原」や戦いに敗れた平通盛の一団が隠れ住んだとされる「横倉・八日谷（平家谷）」がある。







阿伏兎観音（あぶと）

国指定重要文化財。海に突き出た岬に建ち、古くは航海安全、現在では子授け・安産祈願の場としても知られる。

沼隈町の魅力

～地域を彩る風物詩～

能登原とんど



能登原地区で、毎年1月にきらびやかに飾り付けられたとんどが地域を練り歩く正月の風物詩。

阿伏兎花火大会

毎年8月9日に開催され、海上から大玉の花火が打ち上がる。

道の駅アリストぬまくま



福山市唯一の道の駅。地元で栽培された野菜や花、瀬戸内の新鮮な魚介類が並ぶ。

沼隈町の産業

～世界へ拓く海と、実りの大地～

造船業

8万トン級ばら積み貨物船の建造量国内1位。
世界的造船会社を中心に、関連企業が多数集積。

農業

「ニューベリーA」という品種で国内初の種無し化に成功。上品な甘味が特徴の「シャインマスカット」など、県内屈指の評価を誇る「沼隈ぶどう」の産地。

合併建設計画の主な事業

- ぬまくま市民交流センター
- 沼隈運動場
- 沼隈体育館
- 町道鐙線改良工事



沼隈運動場

4町の合併前から現在までの主な出来事

内海町

2026	2023	2022		2019	2014	2006	2005	2003		2002		2001		2000	1999	1972
2月	11月	4月	3月	4月	4月	7月	3月	12月	2月	10月	1月	12月	12月	4月	3月	6月
せとうちエレジー開催（福山沼隈半島体験博）	福山まるごと体験受け入れ100校・1万人突破	想青学園開校（内浦・内海・能登原・千年・常石小学校、内海・千年中学校を再編）	光ファイバー網の整備（サービスの提供開始）	うつみフィッシャーマンズフェスト初開催	瀬戸内しまのわ2014 竜宮マーケットin内海町	うつみ市民交流センター開館	内浦交流館（旧内浦公民館）完成	内海生活支援ハウス開所	**福山市と内海町が合併**	福山市・内海町・新市町合併協定調印式を開催	第1回福山市・内海町合併協議会を開催（全5回開催）	【福山市・内海町合併協議会の設置】を可決	内海町12月議会定例会で【福山市・内海町合併協議会の設置】を可決	内海町議会に合併調査特別委員会を設置	福山市議会に合併調査特別委員会を設置	福山市が内海町に対し、合併の申し入れを行う

新市町

2024	2022		2018	2017	2009	2008	2005		2003	2002		2001		1999	1998	1972
4月	4月	3月	8月	6月	9月	1月	10月	4月	2月	10月	1月	12月	12月	3月	3月	6月
常金丸交流館・小学校の落成記念式開催	新市中央中学校開校（常金・新市中央中学校を再編）	吉備津神社本殿の保存修理完了	新市でデニムを活用したプロジェクト開始（繊維産地継承プロジェクト）	あのね新市保育所開設	常金丸学区で高齢者おでかけ支援事業開始	あしな文化財センター開館	しんいち市民交流センター・新市図書館開館	新市スポーツセンター開館	**福山市と新市町が合併**	福山市・内海町・新市町合併協定調印式を開催	第1回福山市・新市町合併協議会を開催（全5回開催）	【福山市・新市町合併協議会の設置】を可決	新市町12月議会定例会で【福山市・新市町合併協議会の設置】を可決	福山市議会に合併調査特別委員会を設置	新市町議会に合併調査特別委員会を設置	福山市が新市町に対し、合併の申し入れを行う

沼隈町

2026	2025	2023	2022		2020	2016	2009	2007		2005	2004	2003			2001	1999	1972
2月	8月	11月	4月	4月	1月	5月	3月	4月	4月	2月	11月	10月	9月	9月	3月	3月	6月
せとうちエレジー開催（福山沼隈半島体験博）	道の駅アリストぬまくま登録30周年	山本瀧之助生誕150年記念事業開催	想青学園開校（内浦・内海・能登原・常石小学校、内海・千年中学校を再編）	常石ともに学園開校	あのねぬまくま開設	沼隈グランド・ゴルフ場完成	沼隈体育館リニューアルオープン	沼隈運動場利用開始	ぬまくま市民交流センター開館	**福山市と沼隈町が合併**	福山市・沼隈町合併協定調印式を開催	第1回福山市・沼隈町合併協議会を開催（全5回開催）	【福山市・沼隈町合併協議会の設置】を可決	沼隈町9月議会定例会で【福山市・沼隈町合併協議会の設置】を可決	沼隈町議会に合併調査特別委員会を設置	福山市議会に合併調査特別委員会を設置	福山市が沼隈町に対し、合併の申し入れを行う

神辺町

2026	2025	2022	2021	2017	2016	2011	2008	2006		2005	2004			1999	1998	1972
3月	3月	3月	3月	6月	7月	10月	4月	8月	3月	3月	11月	5月	5月	3月	6月	6月
川南土地区画整理事業の概成	中条八幡神社 福山市重要文化財に指定	深安消防署の新庁舎完成	廉塾の保存整備事業開始	あのね神辺支所・あのね神辺保育所開設	かんなべ市民交流センター開館	神辺斎場開所	福山北警察署開署	堂々川砂留登録有形文化財指定	**福山市と神辺町が合併**	福山市・神辺町合併協定調印式を開催	第1回福山市・神辺町合併協議会を開催（全5回）	【福山市・神辺町合併協議会の設置】を可決	神辺町議会臨時会で【福山市・神辺町合併協議会の設置】を可決	福山市議会に合併調査特別委員会を設置	神辺町議会に合併調査特別委員会を設置	福山市が神辺町に対し、合併の申し入れを行う

合併建設計画とは

合併地域を中心とするまちづくりの基本方針を定めた、総合的なまちづくり計画。魅力ある地域づくりや住民福祉の向上のため、市民交流センター、道路、上下水道、福祉施設、スポーツ施設の整備等、具体的な施策の方向性を示している。

↑動画はこちら

福山市
Fukuyama City

発行：福山市企画財政局企画政策部企画政策課



















福山市 平成の合併を振り返る

～内海町・新市町・沼隈町・神辺町合併20年～



















新市町

合併年月：2003年2月



新市町の歴史・文化

～神々が宿る備後一宮～



吉備津神社

備後国の一宮として、地元では**「一宮さん」と呼ばれ親しまれている**。朱塗りの雄大な本殿は国内最大級の規模を誇り、国の重要文化財に指定されている。



町の花「キク」



素盞嗚神社（すさのお）

600年代、天武天皇の時代に創建されたと伝わる歴史ある神社。
祇園祭発祥の地。

新市町の魅力

～受け継がれる熱気と伝説～



祇園祭（けんか神輿）

素盞嗚神社で1000年以上続く歴史と伝統あるお祭り。最終日の夜に繰り広げられる勇壮な神輿合わせ（けんか神輿）は圧巻。

ほら吹き神事

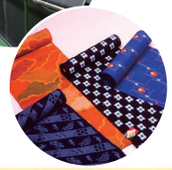


鎌倉時代から続く神事。立春を祝うため夜ごもりをし、世相と笑いを盛り込んだ「日本一のほら話（お国自慢）」を披露し合う。

新市町の産業

～伝統の糸から世界的デニムへ～





日本三大絣（かすり）から高品質デニムへ

昭和30年代には日本最大の絣産地となった。その伝統技術は現在、全国シェア約8割を占める福山の「デニム産業」へと発展。
旧式織機の丁寧な整備や最新技術の融合により、世界のハイブランドにも生地を供給している。

合併建設計画の主な事業

- しんいち市民交流センター
- あしな文化財センター
- 新市スポーツセンター
- 給食センター



あしな文化財センター

神辺町

合併年月：2006年3月



神辺町の歴史・文化

～文人が集う宿場町～



神辺本陣（県重文・県史跡）

江戸時代に参勤交代の大名が休泊した施設。黒塗りの土塀に囲まれた重厚なたたずまいが当時のまま残っている。

廉塾（特別史跡）

江戸時代後期の儒学者・**菅茶山が開いた塾**。多くの文人がこの廉塾に立ち寄り、神辺に文化の花を咲かせた。





八丈岩

御領山の代名詞的な巨岩。

神辺町の魅力

～歴史を体感する催し～

神辺本陣 動く江戸空間

地元の小・中・高校生が江戸時代の衣装を着て、実際に参勤交代の様子を再現するイベント。

廉塾まつり

廉塾ならびに菅茶山旧宅周辺で毎年10月に開催される地域のお祭り。



堂々川

国内最大級の砂留（国登録有形文化財）があり、最も大きな6番砂留は「大砂留」とも呼ばれている。
ホタル・彼岸花のスポットとしても知られている。

神辺町の産業

～伝統技術とハイテクの融合～

眞田紐（さなだひも）

古くは武具や甲冑を留める紐として使われてきた戦国時代から伝わる伝統技術。
現代の和・洋の生活スタイルに合うよう、新たな配色で創りあげている。

金襴（きんらん）

世界でも日本でしか生産できない織物技術で「引箔金襴」と称される織物。
金襴生産量の約７割を占めている。

合併建設計画の主な事業

- 川南土地区画整理
- かんなべ市民交流センター（神辺体育館）
- 神辺斎場
- 神辺保育所



川南土地区画整理

内海町

合併年月：2003年2月



内海町の歴史・文化

～海と生きる記憶～

西海捕鯨と漁師たちの高い技術

江戸時代から明治時代にかけて、九州北西部で行われていた古式捕鯨。内海町の漁師たちは、その卓越した「操船の技術」や「製網・投網の技術」が高く買われ、遠く九州へと進出していた。





瀬戸内海国立公園区域と美しい景観

1934年に瀬戸内海が国立公園に初めて指定された後、1956年には田島馬場崎・矢ノ島から箱崎鳶ガ巣にかけての一帯が新たに指定区域となった。

内海町の魅力

～自然と親しむ絶景の町～

内海大橋

1989年に完成した、くの字にカーブした二連アーチ橋。内海町と沼隈町を結ぶ橋で、それまでフェリーに頼っていた本土との交通の利便性を大きく向上させた。橋が開通するまでは内海町営渡船が本土と内海町田島を結んでいた。





クレセントビーチ

1997年に完成した人工浜の海水浴場。約600m続く白い砂浜は、シーズン中、多くの人でにぎわっている。

漁師の浜売り、とれぴち活魚市場

漁師から直接鮮魚を購入できる鮮魚市で、田島・横島それぞれの漁協が主催している。

内海町の産業

～豊かな備後灘の恵み～



漁業

古くから発展してきた底曳網や定置網などが内海町の基幹産業。

特産品

県内トップの収穫量を誇る「海苔」、大粒で肉厚なブランド牡蠣「うつみ牡蠣小町」。

合併建設計画の主な事業

- うつみ市民交流センター
- 内浦交流館（旧内浦公民館）
- 海の駅（内海フィッシャリーナ）
- 高齢者生活福祉センター



うつみ市民交流センター